

# 2019

# ThreeBond

## RACE REPORT

## Vol.07



### 第16戦/第17戦/第18戦 8月17日(土)/8月18日(日) ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1  
TEL: 0285-64-0001  
<http://www.twinring.jp/>



FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS  
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS  
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

## RACE REPORT

### ポイント圏内

全日本 F3 選手権シリーズ Round 7 (第 16 戦、第 17 戦、第 18 戦) が、8 月 17 日 (土) ~18 日 (日) にかけて栃木県のツインリンクもてぎで開催された。なお、#13 三浦愛選手は本大会も富士大会のレース中に受けた負傷の回復が十分ではないことから、本大会は欠場することとなった。

☀ 天候：晴れ  
 気温：38℃



### #12 大津選手 予選 6 番手

### #13 三浦選手 欠場

#### ▽公式予選

台風 10 号の影響で 8 月 15 日 (木)、16 日 (金) に行われた専有走行セッションは曇天強風のコンディションで行われた。ここでチームは持ち込みセッティングを確認、オーバーステア傾向に対応するためのセッティングを進めた。明けて 8 月 17 日 (土)、午前 8 時 20 分から 30 分間の予定で公式予選が始まった。天候は快晴で気温が朝から上昇し、蒸し暑い。

チームは気温の上昇を考慮して前日のうちにギアレシオをショート側へ振る大幅なセッティング変更を行って予選に備えた。気温が上がると空気密度が下がってダウンフォース発生量が減るため、駆動力を増してコーナリングで向きを変えやすくするための作戦である。

しかし #12 大津弘樹選手が 1 セット目のニュータイヤを装着してコースインしウォームアップからタイムアタックに入ると、計時システムの不具合を理由にセッションは一旦赤旗で中断となった。#12 大津選手はこの時点で 1 分 45 秒 857 のタイムで 8 番手につけていた。

予選セッションは、40 分の中断を経て残り 20 分間で再開された。

#12 大津選手は 2 セット目のニュータイヤを装着してコースイン、タイムアタックを行ったがタイムは 1 分 45 秒 692 に留まり順位は 8 番手のまま変わらない。

3 セット目のニュータイヤは温存して周回数の多い第 18 戦に投入するのが本来の戦略だが、オーバートイクの難しいツインリンクもてぎのコース特性を考慮し、チームは少しでも前のスターティンググリッドを獲得しようと予選で 3 セット目を使う決断を下し、セッティングを変更して #12 大津選手をコースへ送り返した。その結果 #12 大津選手は 1 分 45 秒 323、1 分 45 秒 511 を記録、第 16 戦では 6 番手、第 17 戦では 8 番手のスターティンググリッドから決勝レースに臨むことになった。

#### <第 16 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	11	Sacha Fenestraz	1'44.391
2	36	宮田 莉朋	1'44.500
3	37	小高一斗	1'44.995
4	65	Enaam Ahmed	1'45.026
5	7	Charles Milesi	1'45.081
6	12	大津 弘樹	1'45.323
7	2	大湯 都史樹	1'45.325
8	50	笹原 右京	1'45.366
9	35	河野 駿佑	1'45.585
10	8	片山 義章	1'45.754

#### <第 17 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'44.635
2	11	Sacha Fenestraz	1'44.787
3	37	小高一斗	1'45.104
4	65	Enaam Ahmed	1'45.135
5	7	Charles Milesi	1'45.254
6	2	大湯 都史樹	1'45.409
7	50	笹原 右京	1'45.451
8	12	大津 弘樹	1'45.511
9	35	河野 駿佑	1'45.785
10	51	Ameya Vaidyanathan	1'45.800



## RACE REPORT

### 第16戦 決勝 Race

☀️ 天候：晴れ  
 気温：38℃

### あと一步…届かない表彰台

#### ▽第16戦

8月17日(土)午後4時15分、気温が38℃に達した酷暑が和らぐ中でシリーズ第16戦の決勝レースが始まった。

スタート合図を受けた#12 大津選手は、スターティンググリッド6番手からうまく加速、5番手で第1コーナーへ飛び込み第2コーナーを立ち上がろうとした。

そのとき前方で#37 小高一斗選手と#65 エナム・アーメド選手が接触、#65 アーメド選手が後退したため#12 大津選手は4番手へ進出した。

オープニングラップを終えた段階で#12 大津選手のコンマ4秒前方には#37 小高選手が走っており、#12 大津選手の背後には#2 大湯都史樹選手が続いていた。

オープニングラップで起きた接触の影響で#37 小高選手のペースは上がらず、#12 大津選手は背後に迫ったがオーバーテイクには至らない。すると4周目のヘアピンで#2 大湯選手が#12 大津選手のスキを突いてインに飛び込み先行された。

さらに6周目、#37 小高選手を攻略して3番手へポジションを上げた#2 大湯選手に続いて#12 大津選手もS字の立ち上がりからV字コーナーにかけて#37 小高選手を攻略し4番手へ順位を上げた。その後#12 大津選手は#2 大湯選手を追ったがその間隔は縮まらず、4位でレースをフィニッシュした。



### 第16戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	11	Sacha Fenestraz	24'49.366
2	36	宮田 莉朋	24'51.470
3	2	大湯 都史樹	25'04.797
4	12	大津 弘樹	25'08.336
5	50	笹原 右京	25'08.992
6	8	片山 義章	25'15.780
7	35	河野 駿佑	25'17.661
8	51	Ameya Vaidyanathan	25'19.640
9	30	DRAGON	25'33.588
10	5	久保田 克昭	25'40.348



# 2019

# ThreeBond

## RACE REPORT

### 第17戦 決勝 Race

☀ 天候：晴れ  
🌡 気温：36℃

### 苦しいペース…

#### ▽第17戦

8月18日(日)は空に雲が広がったものの、雲の隙間から夏の太陽が照りつけ、決勝レースがスタートする午前8時25分には気温が30℃を超えるコンディションとなった。

#12 大津選手はスターティンググリッド8番手からスタートしようとしたが、4番手グリッドにいた#65 アーメド選手がエンジンをストールさせて加速できず、#12 大津選手は#2 大湯選手の背後につけて6番手へ順位を上げて第1コーナー、第2コーナーを抜けるとS字コーナーに向けさらに#2 大湯選手を攻略して並びかけた。

しかし#2 大湯選手に抑え込まれた#12 大津選手は逆にS字コーナーの立ち上がりで失速、後方からのオーバーテイクを許して8番手へ順位を落とした。

結局、前に#8 片山義章選手、後に昨年まで共に戦い今回スポット参戦の#50 笹原右京選手が続く状態でレースが進んだ。

#12 大津選手は#8 片山選手に迫りながら後方から攻め寄ってくる#50 笹原選手のブロックにも気を配る難しいレースとなった。

更に、レース終盤はタイヤ消耗が進みペースが上がらなくなってしまった。

結局、前後の間隔は大きく変わることなくレースが続き、#12 大津選手は8位でチェッカーフラッグを受けてレースを終えた。



### 第17戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	24'43.469
2	11	Sacha Fenestraz	24'47.258
3	37	小高一斗	24'49.068
4	7	Charles Milesi	24'54.988
5	2	大湯 都史樹	24'55.807
6	35	河野 駿佑	25'02.552
7	8	片山 義章	25'06.291
8	12	大津 弘樹	25'06.645
9	50	笹原 右京	25'06.890
10	51	Ameya Vaidyanathan	25'07.947

FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS  
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD



## RACE REPORT

### 第18戦 決勝 Race

☀ 天候：晴れ  
 気温：36℃

### 3度目の表彰台！！

#### ▽第18戦

第18戦決勝レースはメインイベントの全日本スーパーフォーミュラ選手権がフィニッシュした午後4時45分にフォーメーションラップから始まった。太陽が傾き気温は29℃を切り、さらに低下しようとしていた。チームは、#12 大津選手が第16戦の結果に従って表彰台を狙える4番手スタートとなったこともあり、前日の第16戦そして午前中の第16戦の状況を分析し、気温低下も加味してオーバーステアを抑制するため大幅なセッティング変更を行って第18戦に備えた。しかしレース前の気温低下が予想以上に急激だったためスターティンググリッド上ではさらに微調整を行った。

スタート合図の瞬間、#2 大湯選手がスタートで先行。#12 大津選手は背後の#50 笹原選手に迫られながらも4番手を守って第1コーナーへ飛び込み4番手でレースを始めた。#12 大津選手はコンマ6秒前を走っている。しかしながら、#2 大湯選手がジャンプスタートのペナルティを受けるだろうと予測しており、その前を走る2番手の#36 宮田選手を意識してレースを進めた。

3周目、#2 大湯選手にペナルティが下って後退したため#12 大津選手は3番手へ進出した。この段階で2番手#36 宮田選手との間隔は4秒360、後方4番手#35 河野駿佑選手との間隔は1秒053。#12 大津選手は前を追い、後を引き離す力走に入った。

だが#36 宮田選手はニュータイヤを温存してレースに臨んでおり、予選でニュータイヤを3セットとも使いユーズドタイヤで走る#12 大津選手にとって大会最長20周のレースは決して楽ではない。結局#12 大津選手は周回毎に少しずつ離されていった。一方、同じ条件の後方#35 河野選手よりはペースが良く、3番手のポジションは確保することになった。

単独走行となった#12 大津弘樹選手は、アンダーステア気味に仕上がったマシンの向きをうまく変えていかに速く走らせるか、新しい走り方を試しながら周回を重ねた。結局、危なげなく20周を走りきると3位でチェッカーフラッグを受け、7月の富士大会に続き、今季3回目の表彰台に上がった。

本大会の結果、シリーズポイント8点を獲得した#12 大津選手はドライバーズランキング6番手、チームはランキング5番手となってシリーズ最終大会を迎えることとなった。シリーズ最終戦のRound 8（第19戦、第20戦）は、9月28日から29日、岡山県の岡山国際サーキットで開催される。



### 第18戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	11	Sacha Fenestraz	35'25.095
2	36	宮田 莉朋	35'25.727
3	12	大津 弘樹	35'41.789
4	37	小高一斗	35'53.649
5	7	Charles Milesi	35'56.650
6	50	笹原 右京	35'57.262
7	2	大湯 都史樹	35'57.815
8	30	DRAGON	36'12.113
9	8	片山 義章	36'15.441
10	5	久保田 克昭	36'38.030



## RACE REPORT

## ドライバーコメント

## ▽ #12 大津 弘樹選手

週末の走り出しでは、フィーリングは良かったんですが、そこからさらに良くしようといろいろ試すと、良くなる一方で逆に悪い面も出てきたりして、その繰り返しでなかなか良いバランスをつかむことができないまま予選を迎えました。第16戦は4位になりましたが正直すごく悔しいです。小高選手がフロントウイングを壊していたのだから、もっと早く仕掛けることができたのもっと前でフィニッシュできたはずなんです。そうなれば第18戦では前の2人と戦えたのにと残念です。それに対し3レース目の第18戦は、表彰台が狙える順位からのスタートだったのでなんとでも良いペースに乗ろうとエンジニアの伊与木さんと相談してセットアップをしたら、それがすごく良くて、週末通して一番動きが良くなりました。単独走行になってからは、リヤがしっかりグリップしてアンダーステアになるクルマをどう曲げていくかという走りの引き出しを自分の中に作ろうと思って工夫を重ね、走り方のポイントをつかめたような気がします。最終大会の岡山ではその引き出しを開けて闘えると思います



## ▽ #13 三浦 愛選手

当初は出場の前定でしたが、ずっと痛みが引かなかったのが改めてMRIで診断したらレントゲンで映らない内部で骨挫傷が見つかり全治3ヶ月と診断されました。痛みはないので走れたかもしれませんが、無理してさらに悪くなったらいけないので大事をとって今回は休場しました。前回SUGO大会のときも外からレースを見ていろいろ勉強になったんですけど、今回は外から見るのはもちろん、スタッフの人たちと一緒にサポートも手伝わせてもらって自分がドライバーをやっているときには気づかなかったことも肌で感じることができ、大津選手の走りも見えてディスカッションしながらセットアップや走らせ方の話もできたので内容の濃い週末を送ることが出来ました。この経験を活かして、気持ちを入れ替えて最終戦岡山に臨みます。ケガはギリギリ間に合うかなあという感じですが、最終戦なのでなんとか気持ちが爆発するような走りを見せたいです



## RACE REPORT

### ▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ		岡山					
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8	5	8	0	11	7	8	7	12	7	10			148	—
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5	12	DSQ	DSQ	6	12	5	11	7	12	8			91	57
4	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF	1	5	11	7	3	11	3	DNF	0	0			63	85
3	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1	5	2	0			56	92
5	小高 一斗/Kazuto Kotaka	3	5	1	1	2	-	-	-	7	3	3	2	5	3	5	DNF	5	3			48	100
6	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0	3	1	7	3	0	0	0	3	0	5			32	116
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—			0	148

\*DNS : Do Not Start 棄権 \*DNF : Do Not Finish リタイア \*DSQ : Disqualified 失格

\*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

### ▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ		岡山					
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7	5	7	10	10	7	10	7	10	7	10			154	—
2	カロラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5	10	3	3	5	10	5	10	7	10	7			111	43
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1	5	2	0			56	98
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10	0	2	2	0	0	2	0	1	3	2			36	118
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0	3	1	7	3	0	0	0	3	0	5			32	122
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0			10	144

